

【負の数をかけること】(教科書 P.35)

☆ (負の数) × (負の数) について考えよう!

P.35 自分のことばで伝えよう☺ を解く

$(-2) \times \square$ について、次のことを説明しましょう。

(1) 右の図で、かける数を、3, 2, 1 と 1 ずつ小さくしていくと、積はどのように変わっていきますか。

(2) かける数を、0, -1, -2, -3 と 1 ずつ小さくしていくと、積はどのようにになると考えられますか。

上の調べたことから、次のことがわかる。

$$(-2) \times (-1) = \square \dots\dots + (2 \times 1)$$

$$(-2) \times (-2) = \square \dots\dots + (2 \times 2)$$

$$(-2) \times (-3) = \square \dots\dots + (2 \times 3)$$

☆ (負の数) × (負の数) は、絶対値の積に正の符号をつける



$$(-2) \times (+3) = -6$$

$$(-2) \times (+2) = -4$$

$$(-2) \times (+1) = -2$$

$$(-2) \times 0 = 0$$

$$(-2) \times (-1) = \dots\dots$$

$$(-2) \times (-2) = \dots\dots$$

$$(-2) \times (-3) = \dots\dots$$



(例) $(-8) \times (-5) = + (8 \times 5)$
 $= 40$

P.35 問 3 を解く

(1) $(-4) \times (-9)$

(2) $(-8) \times (-7)$

(3) $(-10) \times (-10)$

かけ算のことを **乗法** じょうほう という。

<同符号の2数の積>

符号…正

絶対値…2数の絶対値の積

例 $(-2) \times (-7) = +(2 \times 7)$
=14

<異符号の2数の積>

符号…負

絶対値…2数の絶対値の積

例 $2 \times (-7) = -(2 \times 7)$
=-14

ワーク (A)P. 14 2 (B)P. 15 1・2 (C)P. 15 3